

5. 2024 年度 環境経営目標達成状況

(1) 環境経営目標及び環境負荷の実績

取組み項目	単位	基準	2024年度			
		2023年度実績	年度目標	対基準増減率	実績	対目標増減率
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	195,240	194,588	-0.33%	181,882	-6.53%
1. 1 電力使用量の削減	kWh	606,487	604,461	-0.33%	558,114	-7.67%
1. 2 ガソリン、軽油使用量の削減	ℓ	16,948	16,891	-0.33%	12,888	-23.70%
2. コピー用紙使用量の削減	kg	3,720	3,708	-0.33%	3,425	-7.63%
3. 廃棄物排出量の削減 (事業系一般:紙+プラスチック)	kg	8,606	8,606	+0.00%	6,778	-21.24%
4. ケミカルセンター水道使用量の削減 (製造用水以外)	m ³	889	889	+0.00%	873	-1.80%
5. ケミカルセンター排水量の把握	m ³	178			170	
6. グリーン購入の拡大	グリーン調達ガイドラインに則り、印刷物、事務用箋、封筒、名刺などは環境配慮型製品を積極的に使用する。					
7. 化学物質の管理	1) 社内規程に則った作業手順、保守管理基準、防災マニュアルにより、安全と環境保全に努め、ケミカルセンターにおける災害発生を未然に防止する。 2) PRTR法のSDS制度 対象化学物質(第一種、第二種指定化学物質)の年間販売量の把握に努める。					
8. 営業部門の環境貢献活動	1) 3Rの推進、新エネルギー等の活用を積極的に提案する。 2) 環境配慮型の製品・技術の開発・普及に努める。 3) 取組み内容を環境経営レポートにて公表する。					
9. 地域の環境保全活動	環境保全に係るボランティア活動等に参加し、地域社会との共生を推進する。					
10. その他の環境活動	環境啓蒙活動の一環でeco検定®の受験を推奨する。					

電気事業者別 調整後排出係数 2024年(2023年度実績値) kg-CO ₂ /kWh	北海道電力	東北電力	東京電力 エネルギーパートナー
	0.535	0.402	0.431
	中部電力	関西電力	中国電力
	0.421	0.419	0.520
	四国電力	九州電力	(株)リエネ/(株)エナリス
	0.464	0.417	0.000

注 1) 電気事業者別 調整後排出係数(環境省・経済産業書公表)は 2024 年度(2023 年度実績値)、2023 年度(2022 年度実績値)を使用しています。

注 2) 廃棄物排出量(紙、プラスチック)は当社で計量可能な紙類、プラスチックの排出数量及び産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく数値となります。

注 3) 具体的な施策は「8. 2025 年度環境経営目標」をご参照ください

(2) 環境経営目標達成状況及び今後の対応

取組み項目	2024年度 達成状況		今後の対応
	評価	取組み結果	2025年度
1. 二酸化炭素排出量の削減	○	Scope1、2共に前年度の排出量を下回る。 各取組みについては電力・ガソリンの取組みを参照。	Scope1、2共に更なるCO2排出削減を目指す。 各取組みについては電力・ガソリンの取組みを参照。
1. 1 電力使用量の削減	○	広島・大野ケミカルセンターの低圧電力を再生可能エネルギー電気100%に切り替え。 また、2024年4月より太陽光パネル及び蓄電池の設置・計測を開始。	富士五貫島新倉庫建設時に太陽光パネルを設置予定。 電力の非化石証書導入を検討し、更なる二酸化炭素の排出量削減をはかる。
1. 2 ガソリン、軽油使用量の削減	○	各事業所で営業車の廃止及び削減によりガソリン、軽油使用量が減少。	営業車の使用時にはエコドライブを心掛ける。 遠方への出張はモーダルシフトを推奨。
2. コピー使用量の削減	○	PC・FAXの導入推進を行う。 データでの保管・共有を推進。	取組み継続
3. 廃棄物排出量の削減 (事業系一般:紙+プラスチック)	○	昨年度は廃棄書類の溶解処分を行ったため 今年度は削減。	
4. ケミカルセンター水道使用量の削減 (製造用水以外)	○	広島・大野ケミカルセンターで若干使用量が 増加したが、他のケミカルセンターでは減少。	
5. ケミカルセンター排水量の把握		広島・大野ケミカルセンターで若干排水量が増加したが、全体での排水量は減少しました。	
6. グリーン購入の拡大		グリーン調達ガイドラインに則り、環境配慮型製品を使用した。	
7. 化学物質の管理		ケミカルセンターでは、毎月の安全会議実施。 本社及びケミカルセンターの関係者で、年1回の全国物流管理者会議を開催し、事故防止に努めた。	
8. 営業部門の環境貢献活動		・株式会社TBMと当社の連携により、カネヨ石鹸株式会社のクレンザー「カネヨン」の製品ボトルにLIMEX Pelletが採用 ・スタジアムで排出されるゴミの100%リサイクルを目指し、FC大阪様と協働プロジェクトを開始しました。 ・ザスパ群馬様との取組みが「2023 Japan Sports Activation Awards」においてSDGs賞を受賞しました。	
9. 地域の環境保全活動		各事業所毎に環境活動に参加した。	
10. その他の環境活動		eco検定合格者 4名(2024年度)	